

月報 2026年4月30日 NO422

4月号

石城山岳会



# 四方通信

石城山岳会事務局編集

角田山で早春の花を愛でよう：角田山(482m)

「守門・大岳」(1432.4m)

長卸山 (1,068m)

4月 月例山行 会津駒ヶ岳

2026年 登山教室 ニツ箭山登山

# 角田山で早春の花を愛でよう：角田山(482m)

2026年3月28日(土)

参加者：秋葉、三角夫妻、西(由)、種市、矢内、鈴木

『花の百名山 角田山で、たっぷり、カタクリを堪能できました。』

水石駐車場を6時出発。高速を使い約3時間で角田浜海水浴場駐車場に到着。季節も天候も良いためか駐車場には100台以上(見ただ目でザックリ)の車が駐車していた。全て登山客と思われる。

多くの登山ルートがあるが、今日は、桜尾根コース⇒山頂⇒灯台コースの周回ルートとした。

高度が低いうちは可憐なミスミソウが多くみられ、高くなるにつれカタクリが増えていき、群生となっていく。カタクリの花が程よく開いている時刻でもあり、斜面一面にカタクリが咲いている光景はとても素晴らしい。それがずうっと続いていく。また、見つけると幸せがやってくると言われる(??)白いカタクリも登山道脇で見つけることができた。

山頂を通り過ぎ、見晴らしの良い斜面で昼食をとる。

下りは角田岬灯台を目指して進んでいく。途中の岩場で休憩を兼ね、ロープワークの練習をした。「足場の悪い下りでロープを使用し安全に降りる」をテーマに、支点を作り、ロープを張り、インラインエイトノット(中間ループ)を作り、それを握って降りる。勉強になる。

白い角田岬灯台と紺碧の日本海との美しいコントラストも素晴らしかった。日本海の荒波に複雑に浸食された湾を見ながら、灯台の真下にある「判官舟かくし」と呼ばれる洞穴を通して駐車場へ。

彌彦神社近くの成澤商店で名物の「カレー豆」をお土産に買い、いわきに戻った。

(文責：鈴木勤)



★距離：7.1km

★上り：618m

★コースタイム：

9:24 角田浜海水浴場駐車場 スタート

9:33 桜尾根コース登山口

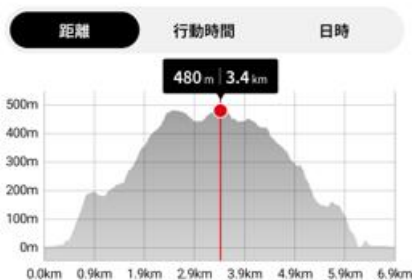
11:20 角田山山頂

11:28~12:05 角田観音堂(昼食)

13:00 梨ノ木平

14:03 角田岬灯台

14:18 角田浜海水浴場駐車場 ゴール





# 「守門・大岳」(1432.4m)

2026年4月5日(日)

スキー：秋葉、渡辺(敏)、高倉、西田、比佐

スノーシュー：安部、渡辺(奈)、青天目

観光：種市、佐藤(幸)、吉田(睦)、松本

日本一の雪庇を見たいと4日は大カ山、5日は守門岳を計画したが、4日は思ったより時間がかかり、雨もちらついてきたので中止とした。夕飯前に宿でロープワークを行った。



5日、雨が降っているので1時間遅らせ出発、登山口でも雨が降っているのに更に様子を見る。スキー、スノーシュー、観光の3班に分け約2時間遅れで出発。

長峰手前で休憩、睦さんの手作りケーキを頂く。美味しい！  
睦さんありがとう。

スノーシュー班は保久礼小屋で戻ることになり、ここで分れる。キビタキ避難小屋で昼食の弁当を食べる。降りてきた人に聞くと、稜線は風が強く、ガスで何も見えないので引き返してきたとのこと。行けるところまで行こうと進むと青空が出てきた。

1268m ピークでも風もなく、大岳まで脚を伸ばす。シールを外し滑降開始。皆スイスイと滑っていく気持ち良い！比佐さん、西田さんも上達したものだ。これくらい滑れると楽しくてしょうがないだろう。

長峰へはスキーを担いで登り返す。スキーは早い、あっという間にゴールに着く。





### 【コースタイム】

除雪終点 8 : 45 → 林道終点夏路登山口  
 9 : 50 → 長峰 10 : 40 → 保久礼小屋  
 11 : 05 → キビタ避難小屋 11 : 50 ~  
 12 : 10 → 1268ピーク 13 : 00 → 大岳  
 13 : 30  
 大岳 13 : 40 → キビタ避難小屋 13 : 50  
 → 保久礼小屋 14 : 00 → 長峰 14 : 20 →  
 14 : 35 → 除雪終点 15 : 05

(文責：秋葉)

# 長卸山 (1,068m)

2026年4月18日(土)

参加者：秋葉、渡邊、三角、赤塚(園)、山縣、西(由)  
二瓶、菊地、須藤、安達、鈴木

『翌日の「会津駒ヶ岳」の前哨戦として、ちょっとマイナーな山「長卸山」に上りました。』

5:40 水石トンネル駐車場を出発。東北道白河ICから国道289に入り桧枝岐村に向かう。途中、キヨロロン村、道の駅番屋で休憩。予定より早めに到着しそうなため、当初の「長卸山登山口からのピストン」を「室山熊野神社からの周回」に変更する。

神社手前で、前日ソロキャンプを楽しんだ須藤さんと合流し、登山開始。神社脇の九十九段の階段を上っていく。イワウチワが奇麗に咲いていた。落ち葉で滑りやすい急登を上り山頂に到着。天気も良く、雪で白く輝く三岩岳が見えた。

周回コースはとても急な下りが続いており、ここで「来た道に戻る 安全優先チーム」と「ロープを使って降りる チャレンジチーム」に分かれた。チャレンジチームは秋葉さん、渡邊さんの指導の下、20mロープにスリング、カラビナを使い、ムンターヒッチで降りる場面が数回あったが、誰も転がることなく安全に降りることができた。

神社駐車場で合流し、ミニ尾瀬公園に移動しお昼を食べる。食後は公園内を散策。まだレストランも開いておらず、観光客もほとんどいないため、のんびり散策できた。水芭蕉、福寿草など沢山の山野草が咲いていた。

宿泊場所の「民宿 御宿 郷」にはちょっと早めの13:45に到着。翌日に備え、のんびり、まったりした。

(文責：鈴木勤)



★距離：3.4km

★上り：330m

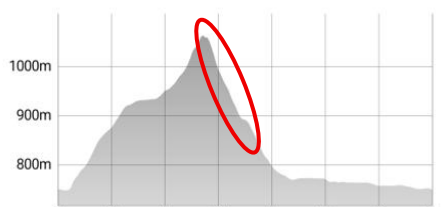
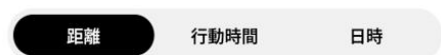
★コースタイム

8:45 神社駐車場 スタート

9:40~9:55 山頂(休憩)

10:55 長卸山登山口

11:18 神社駐車場 ゴール





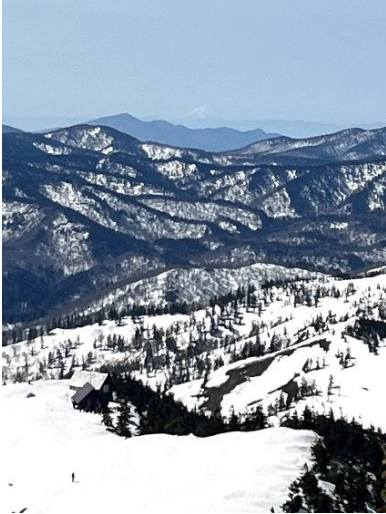
# 4月 月例山行 会津駒ヶ岳

期日 2026年(4月18日(土)～) 4月19日(日)

参加者 スキー班：秋葉、渡邊

徒歩班：二瓶、鈴木、西、赤塚、菊池、山縣、須藤、安達、三角

計11名



少し薄雲があるものの晴れ渡った会津駒ヶ岳山頂からは薄っすらと富士山を見ることができました。「今まででベスト2のコンディション！」何度も登られている秋葉さんからお墨付きをいただきました(ちなみにベスト1は、富士山がクッキリ見えた時とのこと)。

前日の足慣らし長卸山登山を終え、民宿“御宿郷”にお世話になりました。燵の湯で汗を流したあとは、飲み物を持ち寄り“天気祭り”(昔は前泊時の酒宴を諸先輩がこのように言っていたと記憶)。そして夕食では地元食材を使った料理がとても素晴らしく、美味しくいただきました。また、

色々とサービスもしていただきました(感謝)。

4:00 起床 5:00 村営駐車場へ移動 5:15 身支度を整え出発

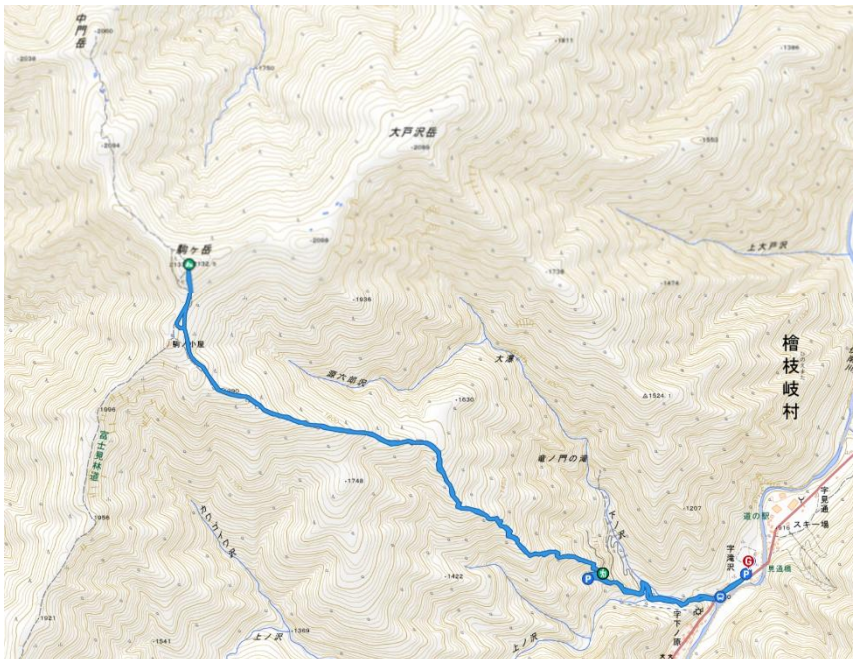
滝沢登山口(5:45)の階段を登り乾いた登山道を辿りました。雪はあまり残っておらず、雪が繋がる1,640mあたり(水場付近)まで進むことにしました。スキー班もここから本番。アイゼンを装着すると、喰い付き良く登ることができました。体が温まって汗ばむくらいになりましたが、途中から吹く風が冷たくなりだしたもののオオシラビソ樹林帯を抜けるころには風もほぼ収まり快適。駒ノ小屋脇を通過して会津駒ヶ岳山頂です(9:30～)。遠く富士山が薄っすら姿を見せてくれました。



遠く富士山が薄っすら姿を見せてくれました。

山頂からの展望は抜群で、富士山をはじめ、燵ヶ岳から至仏山、遠く浮かぶような姿を見せる白い飯豊山、女峰山等々山座同定を楽しむことができました。山頂での軽食のあと、予定より早く下山することができました。

今回の月例山行企画に感謝し、天候にも恵まれ皆様との愉快的な語らいの場を持つことができたこと御礼申し上げます。





三岩岳の向こうに 飯豊山

燧ヶ岳と至仏山

【コースタイム】

- 05:15 駐車場
- 05:45 滝沢登山口
- 07:45 1,640m 付近
- 09:15 駒ノ小屋
- 09:30 会津駒ヶ岳 ~10:15
- 12:15 滝沢登山口
- 13:00 駐車場(下山完了)

【距離】 11.1 km

【登り】 1,235m

(文責：三角)

# 2026年 登山教室 ニツ箭山登山

日時 2026年4月26日(日)

参加者 1班 山田 大和田 西 (R) / 柏村 (SR)

2班 佐藤 根本 先崎 二瓶 (R) / 国井 (SR)

3班 谷口 星 菅野 (直) 山中 (R) / 佐藤 (SR)

4班 菅野 (太) 鶴沼 白銀 比佐 (R) / 山縣 (SR)

〈 天気 晴れ/気温 6時5℃ 9時12℃ 12時16℃ 15時16℃ / 風速5~10(m/s) 〉

〈コースタイム〉 距離 6.5 km・山行 3時間14分 休憩 58分 合計 4時間12分

ニツ箭山◎(8:52)→登山口(9:01)→ご神体の滝(9:15)→ㄨ張場(9:49)→女体山(10:37)→ニツ箭山(11:01)→月山(11:35)／昼食(30分)→月山登山口(12:25)→大山祇神社(12:42)→駐車場(13:02)

〈山行コメント〉

本日、登山教室6期生初登山実技、初山行と言うこともあり、顔と名前が分からず集合30分前に到着したところ、すでに準備中の方々がおり声をかけてみると別のグループでした。

そんな事もあり、本日の目標は“名前と顔を覚えよう”と気を取り直し待っていると山岳会のオレンジ色のTシャツを着た山岳会員の皆さんが集まり始め一安心。

集合8:30よりグループで集まりブリーフィング開始、ザックの中身確認、水分・雨具・行動食・昼食・防寒着・その他各自の必要品を確認し、各グループで登山開始。

緩やかな林道を自己紹介を兼ねて話が弾み20分程で登りの尾根コースが始まり、ご神体の滝付近は水が少なかったため足場が滑らず鎖を使って安全に登れました。ニリンソウ・スミレの群生や鳥のさえずりに耳を傾けㄨ張場を過ぎると急坂が続き10:30ようやく登り終わりアカヤシオが見えて来ると男体山・女体山間の30m鎖場に到着。場所だけ確認し予定通り迂回コースで登るグループとゆっくり足場を確認して登るグループに分かれた。

雨で足場の濡れている時は要注意なポイントを無事に登りきると女体山から湯ノ岳・水石山・市街地を一望して、ニツ箭山山頂へ山頂三角点は林の中で眺望なし、月山へ向かうと再び眺望がひらけここでお昼休憩一休みすると月山登山口までの下りが続きましたが、足元は乾燥しており枯れた松の葉がクッションになりふかふかして歩きやすかったです。

月山登山口からは舗装道路をあるいてニツ箭山駐車場へ無事下山しました。お互い名前や顔もなんとなく覚えられたので次回の座学・山行も楽しみです。

(文責：谷口)

